

平成24年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第2回会議録

日 時 平成24年7月27日(月) 10:00~10:30
場 所 鎌ヶ谷市役所6階第3委員会室
出席委員 内海崎委員、平田委員、三原委員、平林委員、長池委員、竹内委員、秋元委員、田中委員、鈴木委員
欠席委員 坂本委員
事務局 川名男女共同参画室長、中川主査
記 録 中川
傍聴者数 3名

会 議 内 容

- 1 開 会 川名男女共同参画室長
- 2 会長挨拶 男女共同参画推進懇話会会長
- 3 会議録署名人の選出 名簿順により鈴木委員、平田委員が選出された。

4 議題

(1)「地域防災計画への男女共同参画の視点について」

(安全対策課伊藤主幹)

安全対策課では現在、地域防災計画の見直しを行っています。鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画の施策として、防災対策を計画する上で、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の確立を掲げています。東日本大震災では、避難所生活をおくるうえで、更衣室の設置や女性に必要な物資の配布方法など、女性への配慮の必要性が改めて認識されたところです。今後、皆さまから地域防災計画を見直すにあたり、男女共同参画の視点から提言をいただき、計画に反映させていきたいと思っています。

(資料により鎌ヶ谷市地域防災計画について説明)

(A委員) 地盤災害防止対策の崖の7か所など、非常にお金のかかることですね。

(伊藤主幹) 基本的には民地なので、その土地を所有する方々が決め、補助金を出すという形になります。市は危険な個所だということを示して、所有者の判断にまかせることになります。

(A委員) 市内に住んでいる職員は何人ぐらいいるのですか。

(伊藤主幹) 全体で700人弱おりそのうちの38%ぐらいで260~270人程度です。

(A委員) 災害が起きた場合、夜とかどういうふうになるのですか。

(伊藤主幹) 職員は想定された地震の震度で連絡とこたないで自動参集となっています。

(A委員) 電車とか止まってしまって、車も通れない等問題はあると思います。あと、井戸水のことですが、私は自主防災で関わっているのですが、生活用水として井戸水を提供できる人を募集することを進めているので、私のところは名簿を作成している。電源も切れるので各自治会で発電機はほしいという話もあります。野田ではもうやっていますね。梨農家はほとんど井戸水をもっているのでは、使えるのでは。

(伊藤主幹) 飲料水は耐震性の井戸を5か所設置しており、停電になっても自家発電で提供できるようになっています。また、水質検査も実施しています。

(会長) 全体のご質問はありますか。

(B委員) 今回の震災で問題を把握した資料があれば、非常に参考になると思うのですが。

(事務局) 内閣府のほうでまとめたものがあるので後日お送りいたします。

(C委員) 防災会議に女性が2名しかいないとのことなので、もう少し女性を増やす必要があると思いますが。もう少し女性の意見を聞ける体制にしたらいいいのでは。

(事務局) 防災会議が定員30名で現在28名の委員となっていることから、安全対策課から男女共同参画関係団体から推薦してもらえないかとの話があり、動いている最中です。

(E委員) 災害対策本部の職員体制の組織図はあるのですか。

(伊藤主幹) お配りしたファイルに入っています。

(F委員) 物資の備蓄の件ですが、新潟地震で必要だったのがバケツという話だった。トイレにもつかえるし。あと生理用品とおむつが止血止めにもなるし必要とのことでした。

(会長) 元の千葉県知事の堂本さんたちが女性の視点で震災のことを取りまとめた報告書が出ているので委員に配布していただきたい。避難所・普及計画・職員体制などを様々な問題を女性の視点でとりあげたものです。

また、防災計画をこと細かに検討するのは膨大な時間となると思うので、部署がポイントを絞り優先順位をつけてもらおうと検討しやすいと思うのでそのようをお願いしたい。

(2) 地域防災計画への男女共同参画の視点についての学習会「男女共同参画の視点での防災」

(事務局) 学習会について説明。

* その他、意見なし。

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成24年 9月 6日

氏名 鈴木 徳 市

氏名 平 田 真裕美